

「イソベっちの、前へ前へポップー！」

2012年9月30日(日曜)

ゲスト:木村裕一さん(木村アルミ箔株式会社 代表取締役)

第 68 回の「のびのびさん」は、木村アルミ箔株式会社・代表取締役、木村裕一さんです。

Q. どういう事業をされている会社ですか？

私のおじいさんが始めて、今年で 82 年になる、日本でいちばん古いアルミ箔専門問屋です。最初はチョコレートの包装紙を作っていました。それからお弁当の隅にあるアルミでできたカップも作っています。しかし、コンビニで採用されたときに、電子レンジでも使えるものが必要という依頼を受けて、フィルム製に変えて作り出し、今はその方が主流になっています。

Q. 新しい製品として「海苔カップ」を開発されたそうですが、そのキッカケは？フィルム製のカップは最終的にはゴミとなり環境によくない。ゴミにならないためにはどうするかと考えました。「食べたらゴミにならない」ということで、食材でカップを作ろうとなりました。その材料が海苔でした。

Q. 大商の支援を受けて、新規事業「道頓堀こだわり亭／お茶漬け」の開発をすることになったそうですが、どのような事業ですか？

海苔カップを作ったとき、海苔の端材ができて、この端材はお茶漬けの海苔にええなァと思いました。そこで“道頓堀の名物を作ろう”と、地元商店街に声をかけ、食材を集め、大阪商工会議所の「おおさか地域創造ファンド」を活用して事業化しました。今年末には商品の発表会を開きたいと思っています。

Q. 他にはどのような製品を開発していますか？

ナニワの伝統野菜を使ったお茶漬けや、道頓堀のタコヤキを使ったお茶漬けも開発しています。また、高津宮のアーモンドの木を利用して、道頓堀をアーモンドの花咲くまちとして売り出していくような地域活性化、まちおこしも展開していきたいと考えています。

Q. 大切にしている言葉「のびのびワード」を教えてください。

「よそとちゃうことをせなあかん」です。

当たり前のことですが、なかなかできることはありません。当たり前をすることによって進化するんです。これは家訓でもあります。

ありがとうございました。